
第2次氷川町 総合振興計画

2018～2027

小さなまちで、大きな幸せを感じる
田園都市・氷川

氷川町

氷川町町民憲章

私たちは、清流氷川に抱かれた風土に誇りをもち、一人ひとりが、住みよい、発展するまちづくりを進めるため、この憲章を定めます。

- 一. 人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町にします
- 一. 互いに励ましあい、学びあう伸びゆく町にします
- 一. 自然と伝統・文化を大切にする品格ある町にします
- 一. 楽しい家庭と支えあう心のある明るい町にします
- 一. 健康で、勤労をおしまず、産業が発展する元気な町にします

氷川町シンボル



町花：桜

氷川町には、各所に桜の名所があり、町民に愛され親しまれてきました。

春になると里山から平野部の一帯がピンク色に染まり、人々の心を楽しませてくれます。

その美しく華やかな姿は、町の明るく豊かな未来を象徴しています。



町木：梨

氷川町は、熊本県の「梨の発祥地」で、100年以上の歴史があり、天皇陛下に献上されたこともある特産品です。

「吉野梨」のブランドは、全国的にも知名度が高く、町を象徴する木として親しまれています。



町鳥：つばめ

つばめは、古くから日本人に親しまれてきた鳥で、「つばめが営巣する家は栄える」と言われています。

子育てに熱心で、つがいで行動し、渡り鳥として古巣に帰る姿は、家族や故郷を大切にし、さまざまな地域との交流による町の発展と飛躍を象徴しています。



氷川町長 藤本一臣

氷川町が誕生して13年目を迎えます。平成20年に策定した「第1次氷川町総合振興計画」に基づき、「おかえりなさい」の声が聞こえるまちの実現を目指し、まちづくりを進めてまいりました。

人口減少や少子高齢化の進行、地方分権の進展や地方創生による地域振興、グローバル化や情報通信技術の進展、循環型社会の形成など、第1次計画策定後の10年間で社会情勢も大きく変わりました。特に、平成28年に発生した熊本地震では、本町も甚大な被害を受け、自助・共助・公助による防災・減災の取り組みの重要性を再認識したところでございます。

このような状況の中、平成30年度からの10年間のまちづくりの指針となる「第2次氷川町総合振興計画」を策定いたしました。第1次計画を基に見直しを行い、また氷川町を取り巻く社会情勢の変化や熊本地震を踏まえて新たな事業を取り入れ、更なるまちの発展を目指し、まちの将来像を「小さなまちで、大きな幸せを感じる『田園都市・氷川』」と掲げております。氷川の水や田園、里山など自然豊かな環境にありながら、広域交通の利便性や医療・教育などの多様な機能を備えたコンパクトなまちをイメージし、住民の皆さまが安心して暮らすことができ、幸せを実感できる持続可能な氷川町を目指すものです。

将来像の実現に向けた基本的な施策を「産業の未来」「福祉の未来」「教育の未来」「環境の未来」「地域の未来」の5つの分野ごとに施策の大綱として示すとともに、重点的に取り組むべき施策を重点プロジェクトとして定めています。また、町内39地区で策定されている「地区別計画」についても、各地区で地区づくり会議を開催し、住民の皆さまと10年間の振り返りと今後の取り組みを話し合い、「第2次地区別計画」を策定いたしました。

第2次総合振興計画の策定にあたっては、住民の皆さまのご意見を十分に反映し、住民参加による計画づくりを行うため、5つの分野に関連する団体の皆さまと職員が参加したワークショップや策定プロジェクトチーム会議などで議論を重ねるとともに、パブリックコメントを実施し、多くの貴重なご意見やご提案をいただき計画づくりを進めてまいりました。

この総合振興計画を実現するために、引き続き住民の皆さまと行政が一体となった協働によるまちづくりを推進していく所存でございます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後とも住民の皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

第2次氷川町総合振興計画 2018→2027

| | |
|--|----|
| 基本構想 | 1 |
| 1. はじめに..... | 2 |
| 2. 人口動向と将来人口の展望..... | 5 |
| 3. 氷川町のまちづくりを取り巻く状況..... | 9 |
| 4. 基本構想の方針..... | 13 |
| 5. 将来像..... | 15 |
| 6. 将来のまちの姿..... | 16 |
| 7. 5つの未来（方向性、施策の体系）..... | 18 |
| ◆産業の未来..... | 18 |
| ◆福祉の未来..... | 19 |
| ◆教育の未来..... | 20 |
| ◆環境の未来..... | 21 |
| ◆地域の未来..... | 23 |
| 重点プロジェクト | 25 |
| ①氷川町産業推進プロジェクト..... | 26 |
| ②ひかわツーリズム・ステップアッププロジェクト..... | 27 |
| ③高収益で時間のゆとりもある魅力あふれる農業プロジェクト..... | 28 |
| ④みんなであゆもう健康なまちプロジェクト..... | 29 |
| ⑤みんなが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちプロジェクト..... | 30 |
| ⑥生涯スポーツ推進プロジェクト..... | 32 |
| ⑦引っ越してまでも学びたい氷川町プロジェクト..... | 33 |
| ⑧子どもたちの声が響き合うまちプロジェクト..... | 34 |
| ⑨子どもから高齢者までの主体的な活動・活躍及び学習支援プロジェクト..... | 35 |
| ⑩魅力ある暮らしやすいまちづくりプロジェクト..... | 36 |
| ⑪氷川の水環境を豊かにするプロジェクト..... | 37 |
| ⑫循環型社会の形成プロジェクト..... | 38 |
| ⑬住民自治によるまちづくり活動支援システム確立プロジェクト..... | 39 |
| ⑭安全・安心の防災地区づくり推進プロジェクト..... | 40 |
| ⑮祭りコミュニティ再生プロジェクト..... | 41 |

| | |
|--|---------|
| 基本計画 | 43 |
| 第1章 産業の未来 | 44 |
| 1. 地域ぐるみで進める農漁業の振興 | 44 |
| 2. 暮らしを豊かにする拠点を中心とした商工業の振興 | 52 |
| 3. 体験と学習をテーマとした観光・交流の促進とツーリズムの推進 | 56 |
| 4. 地場産業と連携して暮らしを豊かにする新たな産業の創造 | 60 |
| 第2章 福祉の未来 | 62 |
| 1. 高齢者や障がい者を地域で支える仕組みの充実 | 62 |
| 2. 誰もが生きがいを持って暮らせる環境の充実 | 69 |
| 3. いきいきと暮らすための健康づくり | 72 |
| 4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり | 76 |
| 第3章 教育の未来 | 78 |
| 1. 安心して育てることができる子育て環境の充実 | 78 |
| 2. 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実 | 83 |
| 3. 地域づくりと一体となった学びの環境と機会づくり | 88 |
| 第4章 環境の未来 | 92 |
| 1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実 | 92 |
| 2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実 | 97 |
| 3. いのちの源としての水環境の充実 | 99 |
| 4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造 | 104 |
| 5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり | 107 |
| 6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり | 109 |
| 第5章 地域の未来 | 112 |
| 1. 安全・安心な暮らしを支える防災・防犯にむけた仕組みづくり | 112 |
| 2. 地域の歴史・伝統・文化の継承 | 116 |
| 3. 住民主役のまちづくりの推進 | 119 |
| 4. 住民自治を支える行財政システムの確立 | 123 |
| 資料編 | 127 |
| 1. 施策の体系図 | 128 |
| 2. 諮問書 | 130 |
| 3. 答申書 | 131 |
| 4. 第2次氷川町総合振興計画策定の体制 | 132 |
| 5. 各会議名簿 | 133 |
| 6. 第2次氷川町総合振興計画策定の経過 | 142 |